



日本キリスト教団
三軒茶屋教会

三軒茶屋 教会通り

〒154-0024
東京都世田谷区三軒茶屋 1-31-5
TEL/FAX : (03) 3418-4933
編集/発行 : 広報部

家族の秩序と教会



牧師 陣内厚生

家族及び親子の秩序とは何か。その起原は言うまでもなく聖書に見なければなりません。アダムが一人であるのはよくないからとエバが与えられ、この夫婦は最初の家族となったのです。長男カインが生まれたとき、「主によって」子を得たと受けとめています（創世記四の一）。実に家族・親子の秩序は、神への恐れであると言うべきでしょう。

続いて十戒では、親子の秩序を守ることに大きな比重をおいているのが分かります。「あなたの父母を敬え」（第五戒）。神への恐れが土台となって、神が子供たちに両親を立てられたことを、尊敬するよう命じられています。そして、その親たる者は、「今日わたしが命じるこれらの言葉を中心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座しているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい」と厳命されているのです（申命記六の六、七）。

家族の頭である父（夫）は、神のみ心にそって家族を養い、導き、訓

練しなければならず、一方、家族は父（夫）を尊敬し、その権威を認め、その指導を従順と謙遜をもって受け入れねばなりません。こうした秩序を一家の中に定着させていくべき責任が、全員にあるのは言うまでもないことです。もちろん、完全な者とされたのではなく、赦された罪人にすぎない一人一人であるゆえに、さまざまな過ちや争いが起こり得るでしょう。しかし、祈りつつキリストの十字架のもとにある家族は、また、お互いを赦し、愛し合う家族でもあるということなのです。ここに家族の幸いな姿が見えてきます。

次に、家族の役割とは何でしょうか。神の知恵と力、愛と恵みとを表現していくことが大切なことです。イエスご自身、家族の無理解の中で、神のみ心を優先されました。すなわち、神を第一義とする家族関係は、結局は、最も深い安らぎと慰めに導かれていくことになるのです。キリスト者の家庭とは、罪赦された者たちが家族外の人びとにも心を開くことを意味しています。さらに、信仰

が親から子供へと継承されていく課題が挙げられるでしょう。信仰が、親から子へ、子々孫々へ受け継がれていくことは、家族にとっての大事業と言わねばなりません。親のとるべき日常の信仰的生き方、発言や行動、そして祈りがそれを可能に導いてくれるでしょう。

さて、人間性が失われていく世にあって、教会は実に貴重な「希望の家」と言えないでしょうか。ここには、第一に、あらゆる世代の人びとが集い交流できる場があります。このような団体は、世の中を見渡してみてもどこにも存在しません。教会はすべての人びとに門を開き、ゼロ歳から九十歳代のお年寄りに至るまでを受け入れ、世代を超えた交流ができていくではありませんか。

第二に、教会はそうであるがゆえに、大きな家族的集団を意味しています。日本の家族像が危機に瀕している時に、教会は神のみ言葉を基準とした家族像を提示し、また教会自らが血縁を超えた神の家族を形成することができているのです。